

政府・自民党を批判

村上衆院議員

阿部県議要請
今治・松山講演
原発・秘密法対応で

自民党衆院議員(愛媛2区)の村上誠一郎元行政改革担当相が12日、自民政策に批判的な阿部悦子県議の要請を受け、今治と松山両市で講演した。特定秘密保護法に関し「ちらんぼらんな答弁で重要法案を通すようなことは絶対にやっではないけない」と政府・自民党の対応を批判した。

村上氏は「前回衆院

選で自民は6割の議席を取ったが、必ず揺り戻しがある。今の党本部、官邸は首相にブレキをかける人がいない。一人でも多く現状を知ってもらいたい。断してもらったため、立場を超えた」と話した。

秘密保護法案の本会議採決で村上氏は党方針に反対し同党で唯一退席した。森雅子内閣府特命担当相と谷

垣禎一法相の答弁の食い違いなどを挙げ「あらゆる角度からの質問に答えられておらず、法案として未成熟。党内で再考させるのが本来の自民党だ」とし、議論不足を嘆いた。

また党で東京電力福島第1原発事故の究明に関する小委員長を務

める村上氏は、原発再稼働に対し事故の原因と指摘した。究明を最優先すべきだ



特定秘密保護法の審議に関し政府・自民党本部の対応を批判する村上誠一郎元行政改革担当相＝12日、松山市堀之内(撮影・和泉太)

議会の秘密監視視察